

経営比較分析表（令和2年度決算）

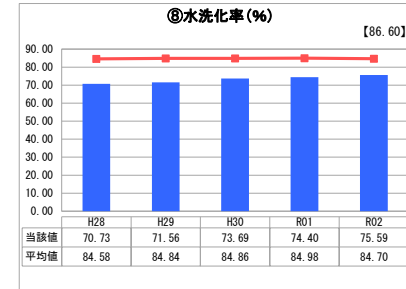
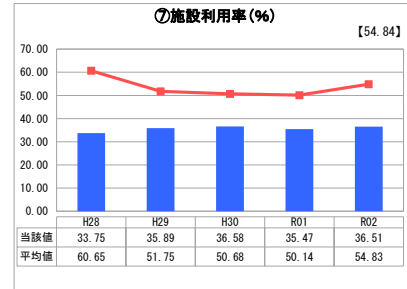
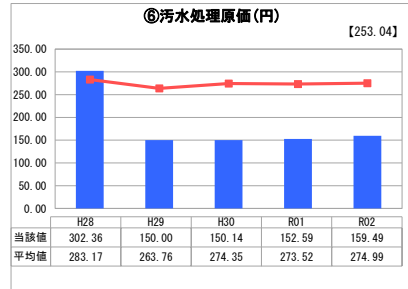
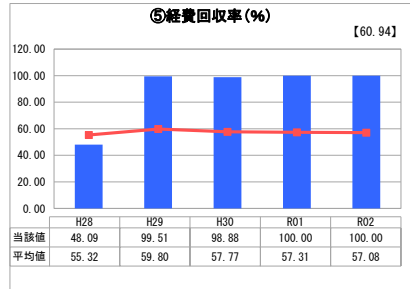
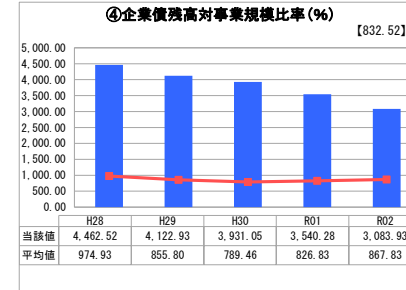
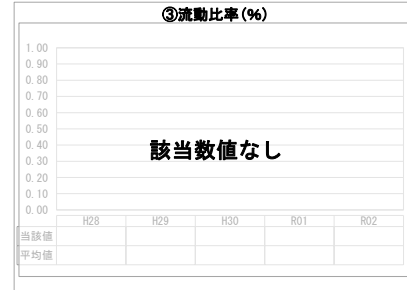
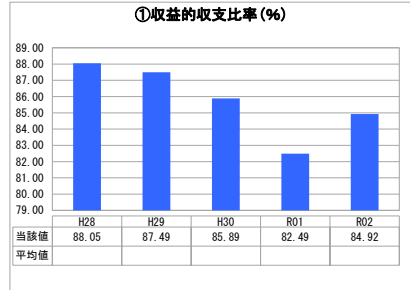
岩手県 葛巻町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	31.97	81.13	1,650

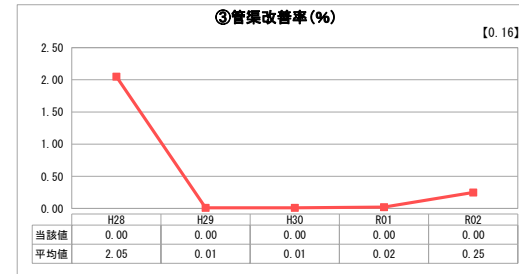
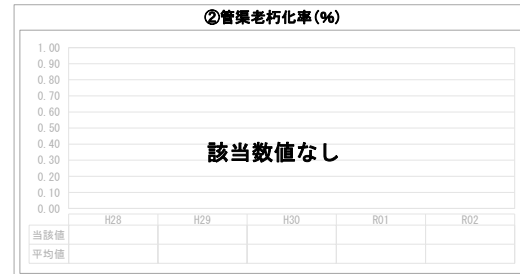
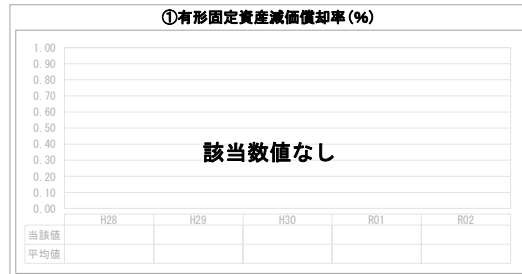
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,874	434.96	13.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,860	0.67	2,776.12

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、80%台で推移しており、今後は地方債償還金の増加が見込まれるため、使用料収入の確保や維持管理費の削減など経営改善に向けた取り組みが必要である。

④企業債残高対事業規模比率は、建設改良等の工事を実施していないため例年減少傾向にあるが、更新事業の実施が見込まれるため今後は増加する可能性がある。

⑤経費回収率は、近年は約100%であるが、施設の老朽化による更新需要もあるため、適切な使用料収入の確保や維持管理の削減が求められる。

⑥汚水処理原価は、近年、類似団体より低い状態が続いているが、投資の効率や維持管理費の削減、接続率の向上による有収水量の増加させるなど経営改善が必要である。

⑦施設利用率は、処理区域内の人口減少もあり、類似団体と比較すると低い状況が続いている。新庁舎など新たに接続が見込まれる建築物もあるが、改善には「水洗化率」の向上が必須であり、水洗化率の向上に一層努める必要がある。

⑧水洗化率は、町単独事業である水洗化普及支援事業等を活用し、年々少ずつつではあるが上昇傾向にある。しかし、類似団体と比較すると低い数値となっているため、今後は更なる普及促進を図るための啓蒙活動を行う努力が必要である。

2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水事業は、葛巻地区及び四日市地区の2地区となっており、葛巻地区は平成10年4月1日、四日市地区は平成13年4月1日から供用開始している。葛巻地区は供用開始から23年、四日市地区は20年が経過しており、処理場の機器等の修繕が必要となっている。

国では、公共施設等の長寿命化、計画的な更新等の長期的な公共施設マネジメントの取組を推進するため「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、令和2年度までに「個別施設計画」の策定を求めているところである。

当町では、国庫補助事業を活用し、令和元年度に機能診断調査を実施し、令和2年度に最適整備構想（個別施設計画）を策定したところであり、今後は最適整備構想（個別施設計画）に基づき、施設の統廃合や計画的な更新事業を行い、施設の長寿命化を図っていく予定である。

全体総括

類似団体と比較して特に改善が必要となる部分は「施設利用率」及び「水洗化率」となっている。平成26年度より水洗化普及支援事業を継続して水洗化率の向上に努めているが、今後は更なる普及促進を図るための啓蒙活動を行う努力が必要である。

経営面においては、令和元年度に中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定した。今後は、最適整備構想（個別施設計画）に基づく更新事業や施設の統合、使用料の見直しの検討など、健全な経営を実施できるよう計画的に行う必要がある。また、平成31年1月25日付け総務大臣通知により令和5年度までに公営企業会計に移行する必要があるが、令和2年度は岩手県の支援を受け、公営企業会計移行の実施に向けた検討に着手したところであり、円滑に移行できるよう早期に検討を進めていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。